

第 3 回 高 知 女 子 大 学 看 護 学 会 の よ び かけ

運営委員長 森 田 道 子

盛夏の候、皆様には益々ご清栄にてご活躍のこととおよろこびを申しあげます。

今、高知では、道路のアスファルトもとかすような暑さの中を、よさこい祭のおどり子隊が威勢よく街をねりあるいています。

さて、本年は、東京の武道館を主会場として第 16 回国際看護婦協会四年毎大会が開催され、その学術会議において南裕子さんが、「看護婦のイメージ ― 看護婦は自分をどう見、人々は看護婦をどうみるか」というテーマのパネリストとして参加されました。

そして又、山崎近衛先生は、本年四月にご退職されましたが、それを記念してご自分の今迄の生き方、そして看護のころを一冊の本にまとめられて「火筒のひびき」として高知新聞出版部より出されました。さらに先生は、今日迄のご功績により先月、厚生大臣賞を受賞されました。本当にすばらしいことです。近況の一端をご報告申しあげます。

一方、高知女子大学看護学会も会を重ねてまいりましたが、昭和 52 年度の第 1 回運営委員会において、今一步充実した学会にもってゆきたいという願いから、次回は 53 年 8 月 5 日に高知で開催するということに決定致しました。丁度 1 年先になりますので、研究の期間が十分にありますので、どうぞ第 3 回高知女子大学看護学会にはこぞって日頃の研鑽の成果をご発表下さいますようお願いを致します。そして又、会員の多くの方々のご参加を期待致します。再会できる日を楽しみに、頑張りましょう。